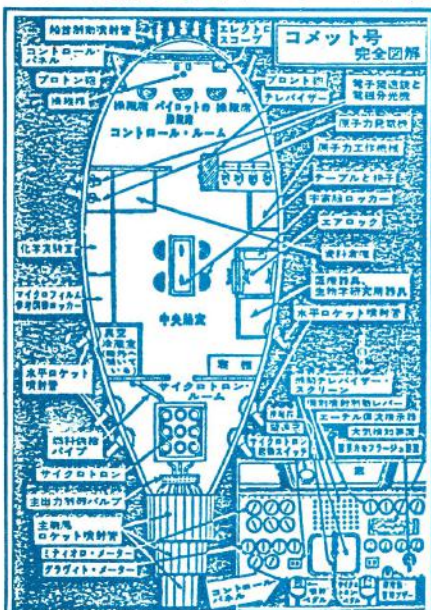
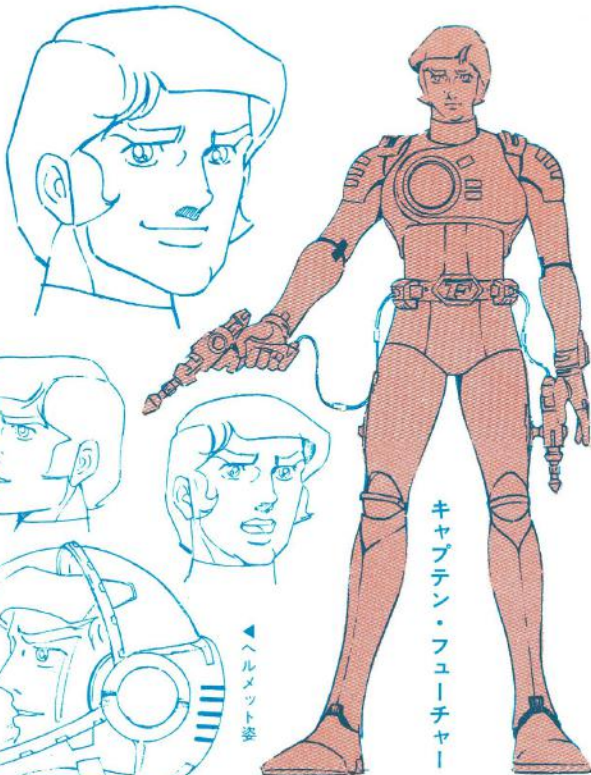


# 設定資料館

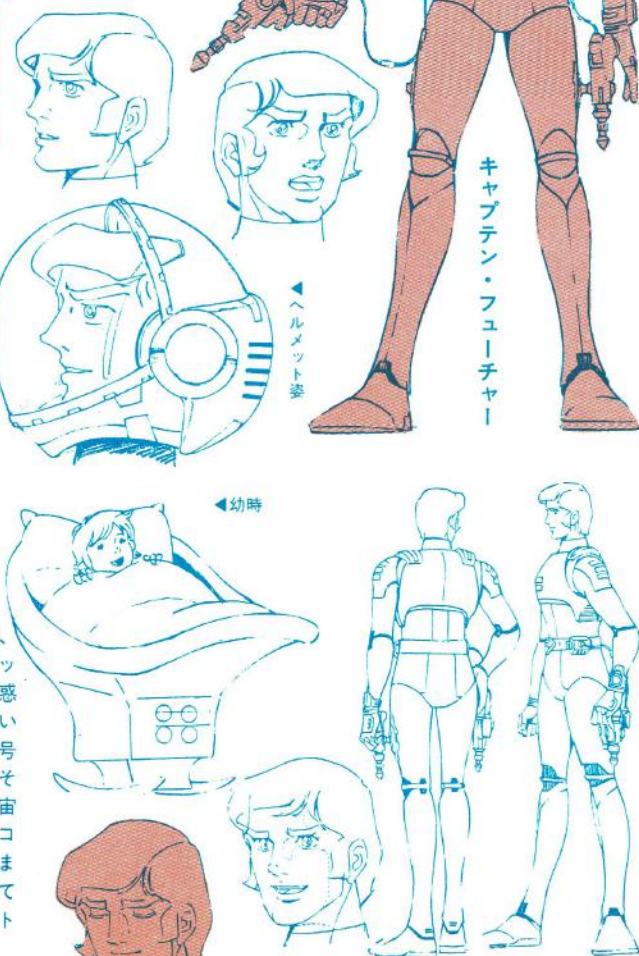
第二回

## キャプテン・フューチャー

幼いころ、両親を悪の手先に殺されて以来、生きている脳サイモンと第2の生命「オットー」そして、精巧なロボット・グラググに育てられたカーティス少年は、彼らの教育で知力、体力ともに優れた男に成長した。彼は、両親の死の真相をしるやキャプテン・フューチャーと名のり、大陽系政府の主席に面会し、生来の友人であり、師でもある3人の仲間とともに、宇宙の平和のために戦うことを誓った。事件が起こると、フューチャーあての北極の信号燈が点火される。彼らの活躍は、太陽系内すべての惑星まで広がっている。いまや、正義のために戦うこの4人は宇宙の守護神ともいえるのだ。



▲キャプテン・フューチャー専用の小型宇宙艇で、ひきのばした涙滴を思わせる外形をしている。ロケットエンジンはすばらしい宇宙速度をもち、太陽系惑星間を航行する。燃料はサイクロンを使用している。コックピットの赤いレバーをひくと、コメット号の噴射管からキラキラ光る粒子が大量に噴出し、その粒子は一瞬のうちにまばゆく輝く雲となり、宇宙艇をすっぽりつつみこんで長い尾をひく。これでコメット号は外部から、まったく見えなくなってしまうのである。つまり、その名のとおり彗星と化してしまうのだ。その他の武器としては、強力なプロトン（電子）砲を備えている。（東映動画「企画書より」）



物質電送、頭脳移植、次元転位などの科学的未来がいつばいつまった「キャプテン・フューチャー」。その科学を利用して太陽系支配をくだてる悪人たちに、対抗するキャブ

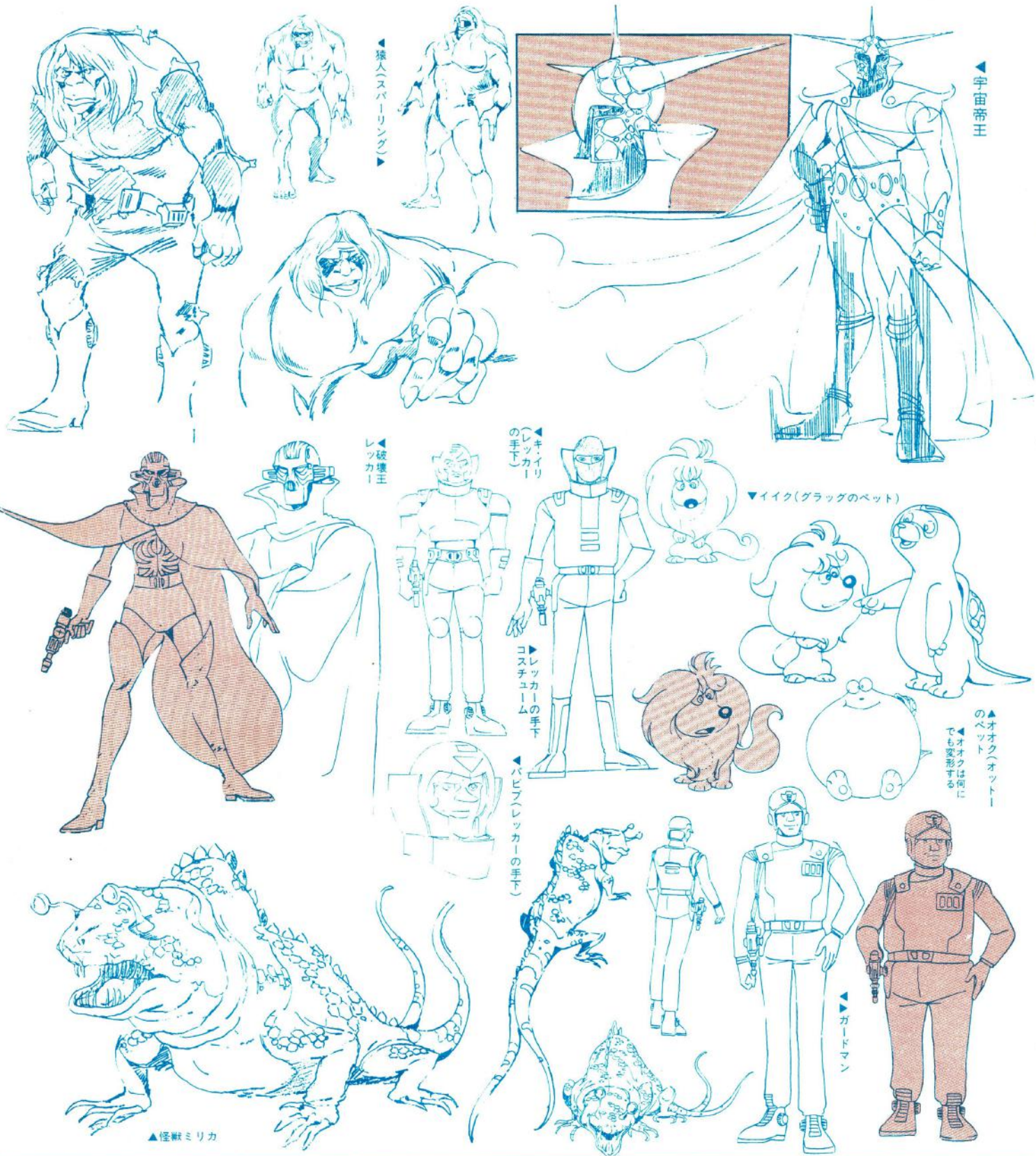
テン・フューチャー。また、アクション、ロマン、夢、冒険もふんだんに盛りこまれたスペース・オペラである。E・ハミルトンの同名小説の忠実なアニメ化作品だ！

# キャプテン・フューチャー設定









▲宇宙帝王

▲猿人(スパーリング)

▲破壊王  
レックカー

▲キーイリ  
(レックカー  
の助手)

▲コステューム  
レックカーの助手

▲レックカーの助手  
(バビレックカーの助手)

▼イク(グラッグのペット)

▲オオク(オットー  
のペット)  
オオクは何に  
でも変形する

▲ガードマン

▲怪獣ミリカ

されて以来、とび抜けた人気を誇り今にいたっている。

物語は、孤児として生まれた少年が、サイモン、グラッグ、オットーという奇妙な3人の仲間と育てられ、キャプテン・フューチャーと名乗って正義を守る人物に成長してからの活躍を描く。彼は知力、体力ともに優れた人物として描かれ、物質電送、頭脳移植、次元転位、といった未来文明の科学とメカとを背景にして、様々な悪と戦い続ける。

この魅力あふれる主人公を支えるのは美しい女性警察官ジョーン・ランドール。そしてギャグメイカーであると同時に参謀役ともいべき3人、それに親友エズラ・カーニーと登場人物も多彩。

まさにスペース・オペラの醍醐味ともいべき、夢とロマンと冒険とがふんだんに盛りこまれた作品である。

■カーチス・ニユートン・キャプテン・フューチャー

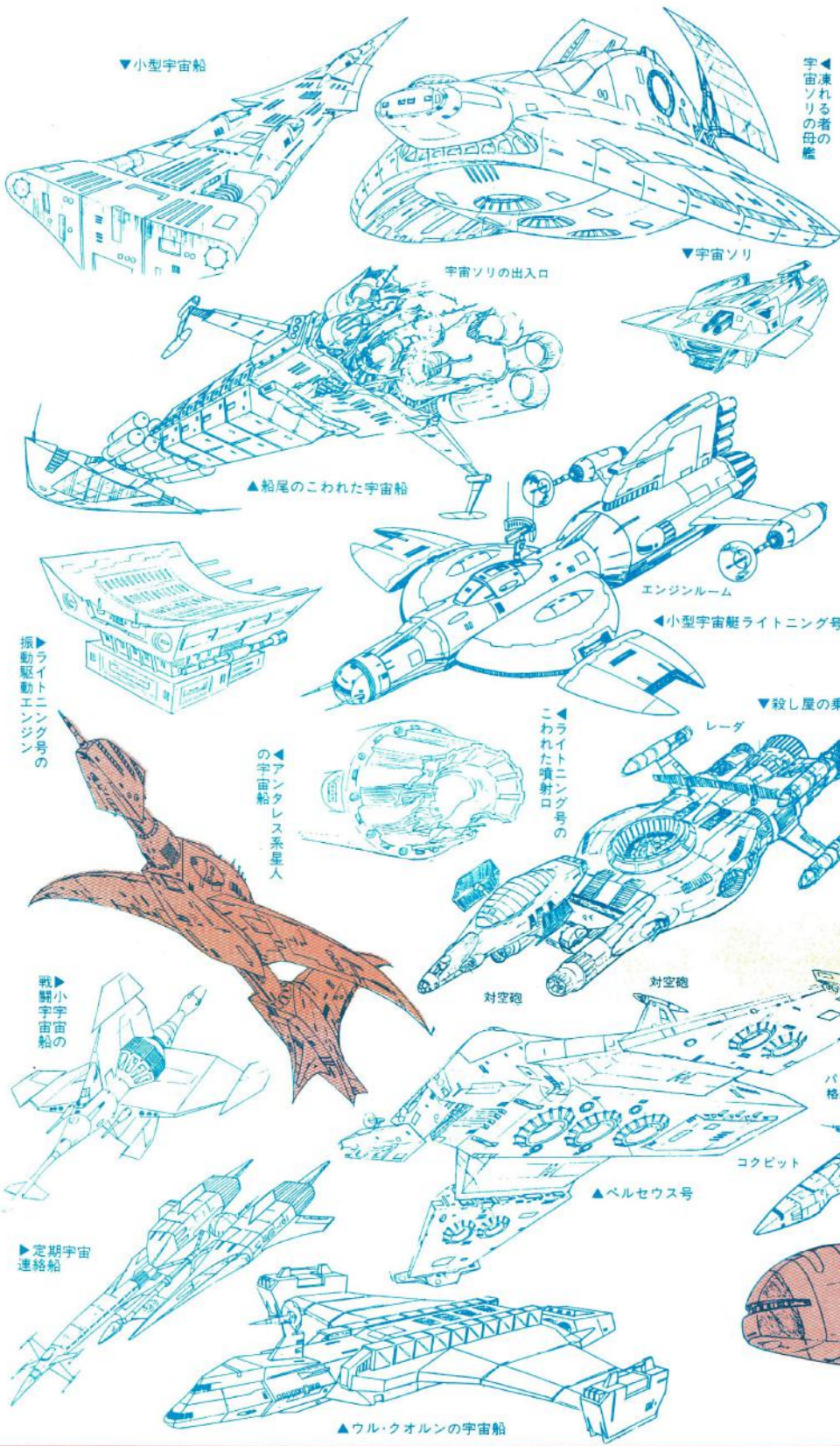
あらゆる悪に敢然と立ち向かい、これを次々と撲滅していく正義の味方。この赤い髪をした長身の陽気な冒険家こそ全太陽系住民一人一人、そしてあらゆる種族に圧制を加え搾取する悪に対し、なさけ容赦ない鉄槌をくだす勇氣ある男。その比類のない彼の勇敢さに加え、天才としかいえない科学的な才能は、太陽系の正義の守護者としてすべての人々に信頼され尊敬されている。

今を去ること25年前、若き地球の生物学者ロジャー・ニユートンは、ひとつの雄大な夢を抱きその研究に没頭していた。その夢とはほかならぬ人工の生命の創造であり、完成は間近に迫っていた。そのころ一人の悪徳政治家コルボがそのことをしり、秘密を盗もうとした。そこでニユートンは、若き妻エレーヌと永年の共同研究者であるサイモン・ライトと共に、月にある隠れ家に逃れた。



# メカニック設定

「キャプテン・フューチャー」の原作者は、現在のアメリカのSFの基礎をつくったE・ハミルトンである。この作品がアニメ化される前に、すでにSFアニメ作品のメカ設定に多く利用されてきたといわれている。そのメカニック設定の特徴は、誇大妄想的なものではなく、未来の科学の進歩を十分に射程にいれたオーソドックスなものが多い。そして、コメット号の涙滴形のように、人間の持つ情緒をながいしろにしないデザインを心憎いほど考慮している。



▼小型宇宙船

▲凍れる者の宇宙ソリの母艦

▼宇宙ソリ

宇宙ソリの出入口

▲船尾のこわれた宇宙船

エンジンルーム

▲小型宇宙艇ライトニング号

▼トラストの飛行艇

▼殺し屋の乗る宇宙船

▲ライトニング号のこわれた噴射口

▲アンタレス系星人の宇宙船

対空砲

対空砲

後方レーダーアンテナ司令塔

パトロール艦格納庫

コックピット

▲ベルセウス号

▲感星パトロール母艦

X型ウィング(可変翼、離着陸の時に上下のウィングは水平に閉じる)

▲定期宇宙連絡船

▲ワルク・オールの宇宙船

▲囚人護送船バルカン号

間もなく二人の間には男の子が生まれ、カーティスと名づけられた。一方、最初の人工人間でもある巨大な鋼鉄製のロボットの創造に成功した。さらに第二の人工生命オットーをつくりだすことに成功したが、その時コルボが現れロジャーは妻とともに暗殺されてしまった。残された赤ん坊はエレーヌのかねてからの願いによりサイモン、オットー、グラッグの3人の手で月世界で育てられることになった。比類ない科学者である「生きている脳」サイモンは、カーティス少年の知育の面を担当した。そして科学のあらゆる分野の知識をさすけ、すべての工学的知識と技術を短時間のうちに身につかせた。「精巧なロボット」グラッグは、そのケツはずれの力とスタミナを独特の方法で少年に注ぎこんだ。

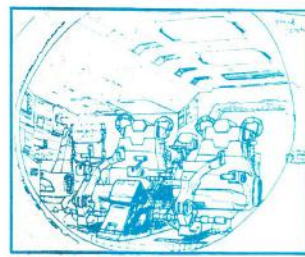
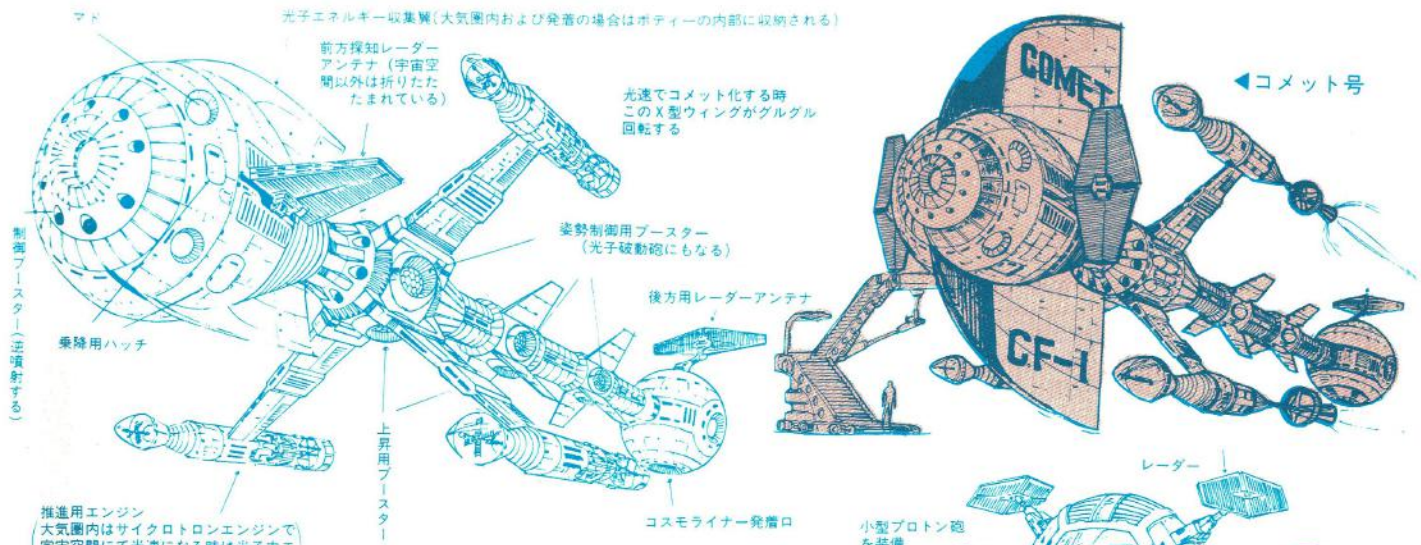
「第2の生命」オットーは、持ち前の精神力と肉体両面にわたるおどろくべき敏やかな反応の能力を植えつけた。

やがて、カーティス・ニュートンが見事な一人前の男に成人した或る日、サイモンは彼の両親の死の真相を語り、科学を不正な目的に利用しようとする悪の手と勇敢に戦ってほしいと語り、全太陽系の未来のために戦う勇者キャプテン・フューチャーはここに誕生したのである。

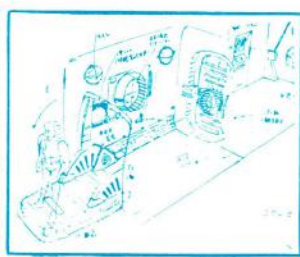
そしてその夜、地球に戻ったキャプテン・フューチャーはひそかに太陽系政府主席と面会し、その能力のすべてを惑星世界の犯罪撲滅に提供することを申し入れた。

それから数か月後、奇怪な事件が惑星世思を恐慌状態におとし入れ、太陽系警察機構必死の捜査もお手あげとなつた時早速行動をおこしたキャプテン・フューチャーと異様なその3人組の仲間達はものの2、3週間とたたぬうちに、見事にその事件を解決し、それ以来北極の信号燈台(キャプテン・フューチャーへの信

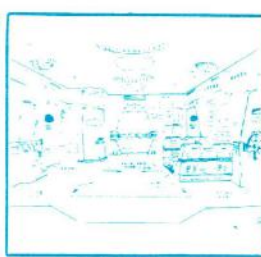




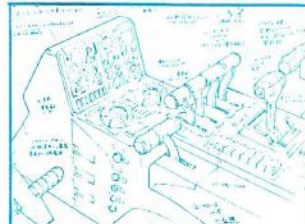
▲コメット号コックピット



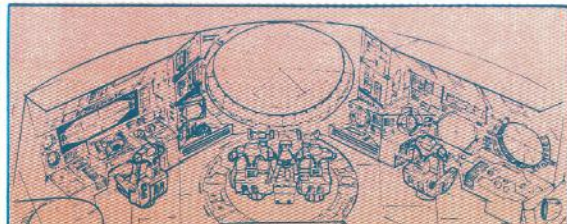
▲コメット号エアロック室



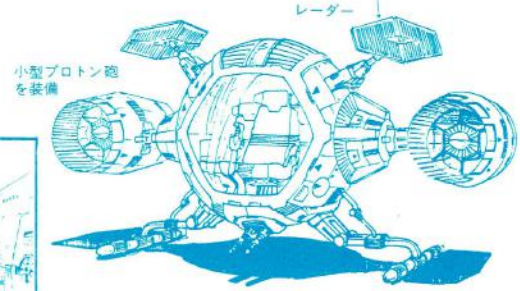
▲コメット号休憩室



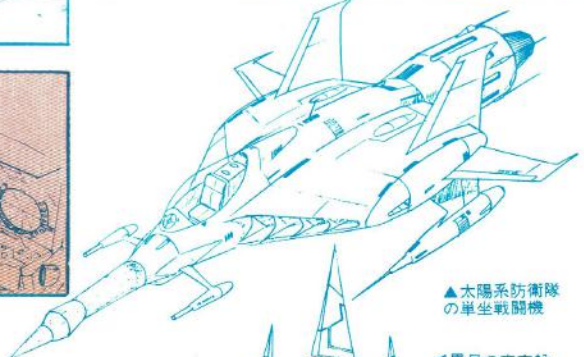
▲コメット号エンジン関係表示パネル



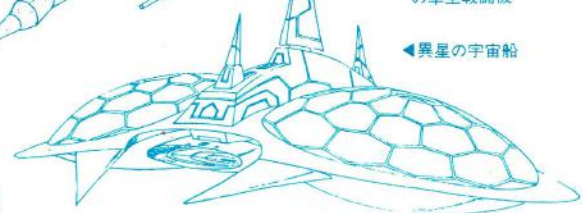
▲コメット号コックピット



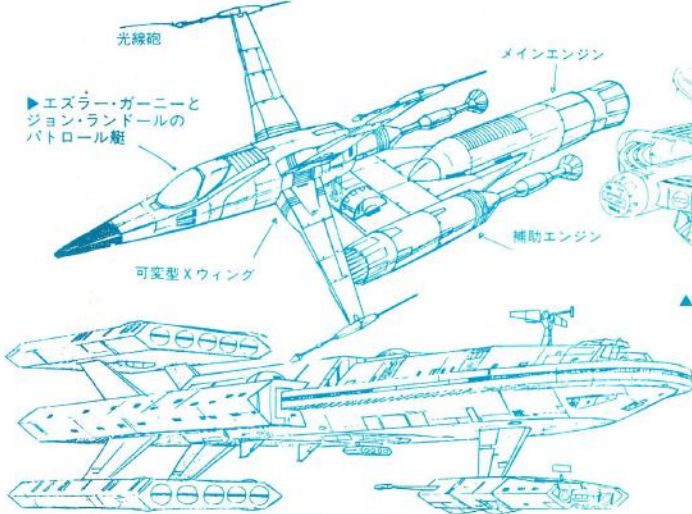
▲コスモ・ライナー(3人乗り、前方1人掛シート、後方2人掛シート)



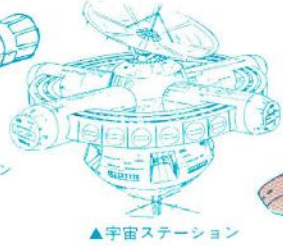
▲太陽系防衛隊の単坐戦闘機



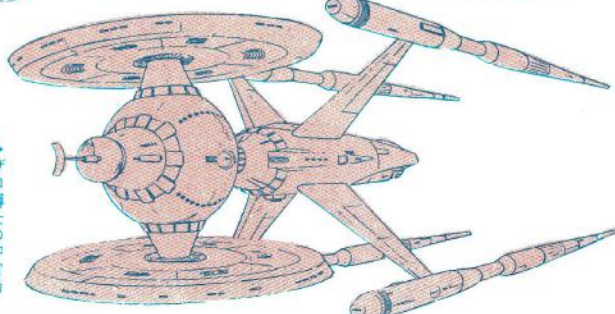
▲異星の宇宙船



▶エズラー・ガーニーとジョン・ランドールのパトロール艦



▲宇宙ステーション



▶サロ博士の宇宙船

▲宇宙船パラサ号

号燈台)は何度も点火され、そのたびにキャプテン・フューチャーとその一党は見事にその期待にこたえ、この謎にまつまれた正義の一味の名はあまねく太陽系内、すべての惑星世界へ広がっていったのである。

キャプテン・フューチャーは常に灰色の合成綿でつくられた搭乗服を身にまとい、腰にはタンクスタイト合金製のベルトをしめ、プロトン(原子)銃をさげて左手には大きな珍しいリングをしている。このリングこそキャプテン・フューチャーの身分証明書なのだ。更にベルトには動力等化機を装備しており、磁力を応用して重力感を地球に合わせさせてある。また、変装術にたけており、誰にでも化けられるのも大きな特徴である。

■サイモン・ライトへ生まれている脳

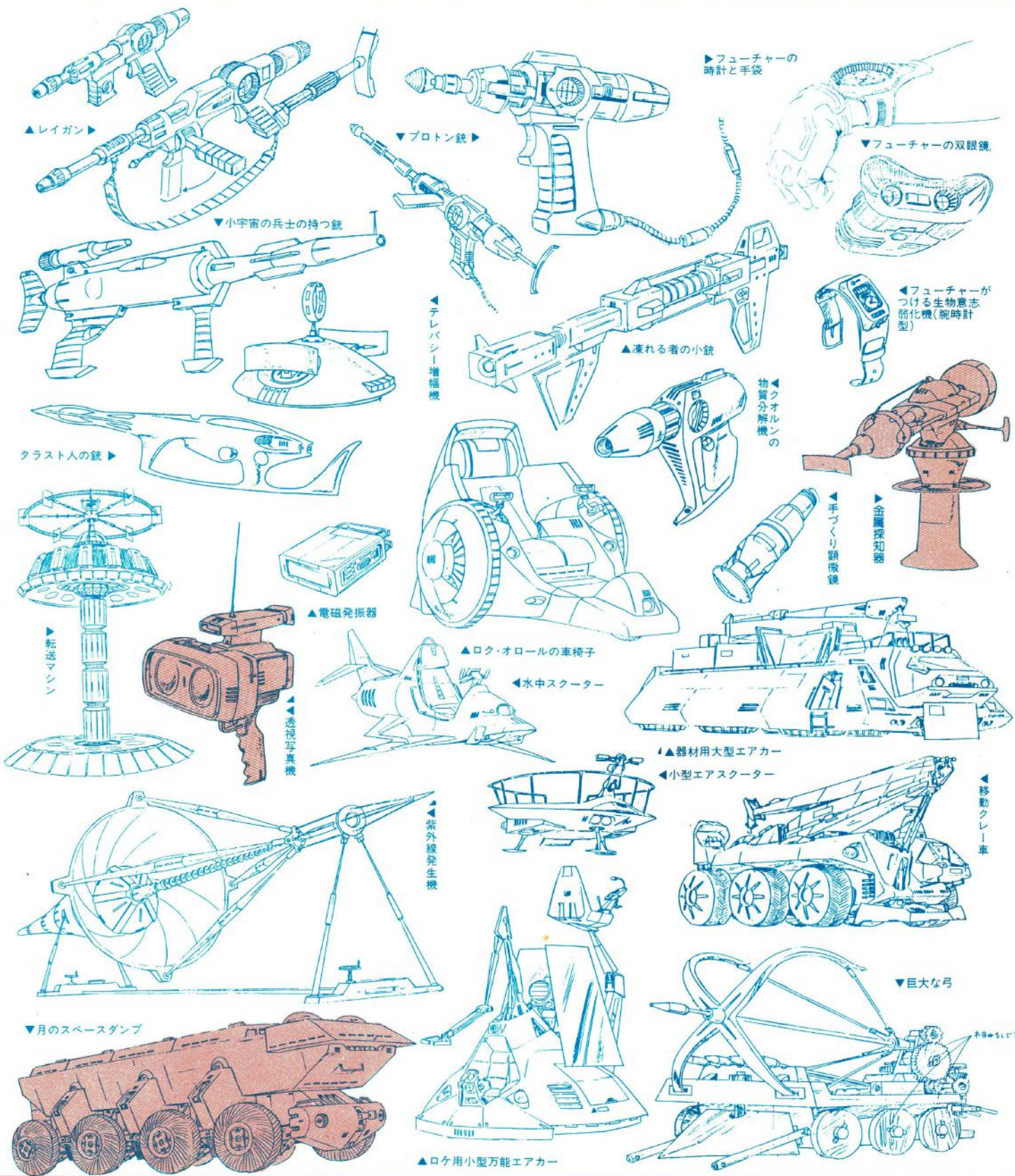
彼はかつて有名な科学者であったが、老年になって不治の病に冒された。そこでそのすぐれた脳を死から救うために、キャプテン・フューチャーの父ロジャー・ニュートンは彼の願いを入れて、その脳をそっくり体から取り出し、特製の液体入りケースに移植し、今日にいたるまで脳だけが生き続けている。キャプテン・フューチャーの参謀役である。

■グラッグへ全鋼鉄製口ポット

彼は、キャプテン・フューチャーの父ロジャー・ニュートンとサイモン・ライトの共同製作によりこの世に生まれた最初の人工人間で身長アフィート、人間にやや似たその体には信じられぬほどの力が秘められ、高感度の光電管を利用した目とマイクを応用した耳、そして金属製の人工神経繊維を利用した脳は、考え、しゃべり、感じ、そして働くのに十分だけの知性をそなえている。

更にグラッグの太い指はどれも取りはずしが出来て、脇腹についているメスやノミやドリル等を指の代わりにはじめこ





として、小さな注射器で注射すると彼の緑色の目はたちまちほかの色に変わり、更に別のチューブからひねり出した染料によって膚色を変えてしまうのである。

この3人は、一口で言えば巨大な体のくせに単純なロボット。シニカルだが人なつこいアンドロイド。そして、気むすかしくびしい、生きている脳のトリオである。

**■ ロボットもアンドロイドも自分が人間**  
 あるいは人間をつくりと感ずることに喜びを覚えるのだが、一見してアンドロイドのほうがより人間に似た形をしている事実がロボットを常にいらだたせるものになる。

**■ ショーン・ランドール**  
 惑星警察のなかでも異例の女性警察官で若く、機転がきいて美しい。

**■ ジェームス・カシコ**

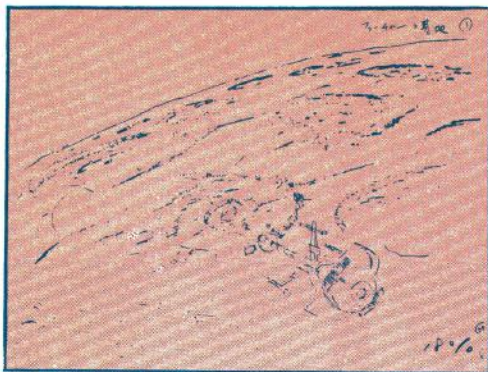
感情の表現は目の輝き具合でわかる。  
**■ オットー・合成アンドロイド**  
 彼は先につくり出されたグラッグの次に創造された第二の人工生命で、この合成人間は真っ白なゴムのような材料を利用して人間をつくりの形に作られた。そのきれいな長い緑色の目と肉色、精神両面における超絶的な反応の素速さは、まさに人間はなれのしたものであり、物覚えの良さはグラッグにくらべると数段上である。

そして特に彼の変装術は目を見張るものがある。腰のベルトに小さなメイファップ用のケースがついており、中にスプレーのついた小ビンが入っている。変装する時に、そのスプレーで特殊な油を吹きつけるとゴムの膚がとけて、ワックスのように柔らかくなり、数分のうちに自分の顔をどんな顔にでもつくり変えることができる。

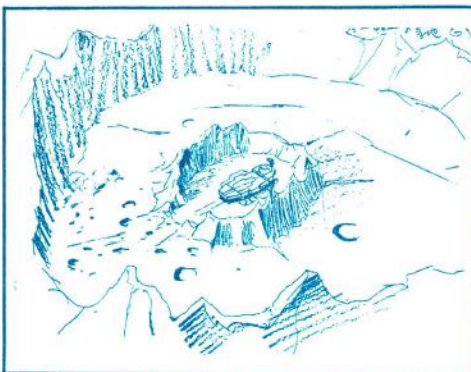


# 美術設定

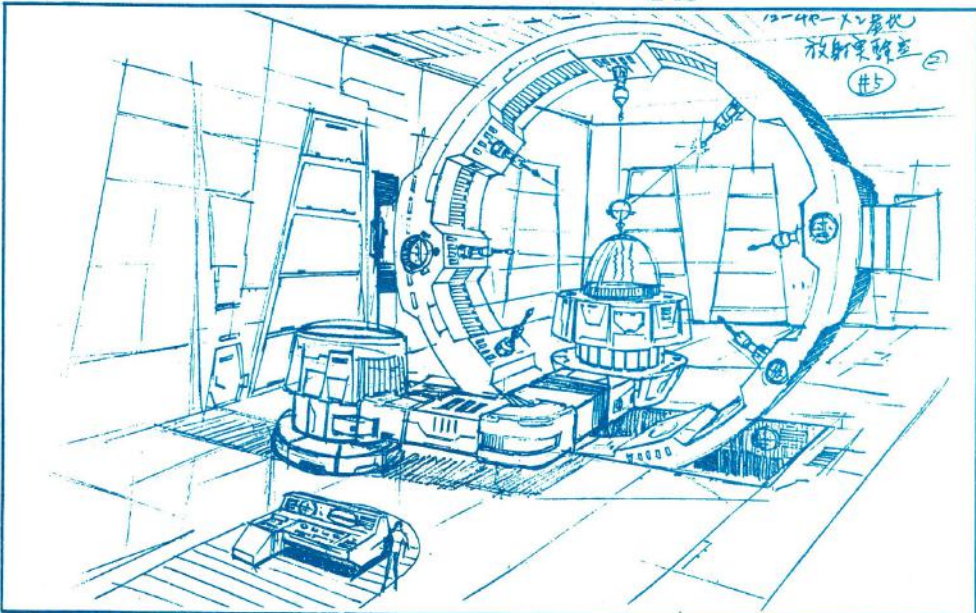
科学的な根拠に留意した設定は、美術設定にもあらわれている。例えば、月にあるフューチャーメント基地、惑星間飛行の乗りものには未来の宇宙船産業（水星の鉱物資源）を考え、常に人間の営みと自然・宇宙とのバランスを計算にいれている。この配慮がその美術設定にシリウスな構成を与えている。楽しさ、エンターテインメントのなかに、細かな心づかいをみせる良心的な作品としての質を持っている。



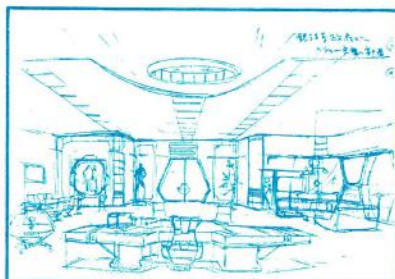
▲フューチャーの基地①



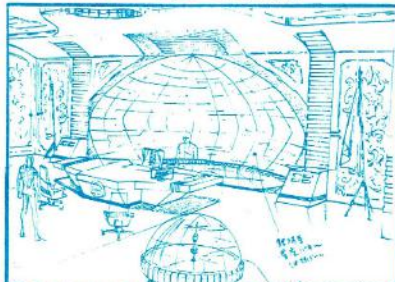
▲フューチャーの基地②



▲基地内放射実験室



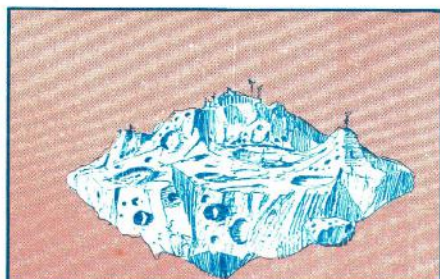
▲銀河系政府ビル・カシュー主席の部屋



▲銀河系政府ビル・カシュー主席の部屋



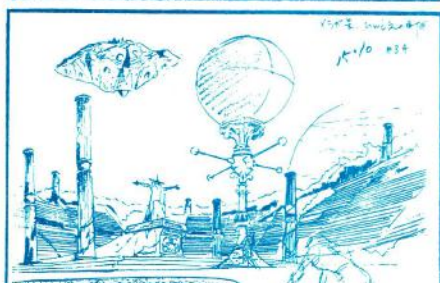
▲メラガ星 総警部



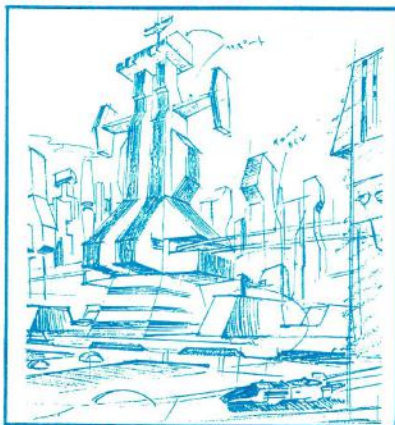
▲メラガ星の衛星タウン



▲ジャングルタウン・賭博場兼バー



▲メラガ星 いしえの町



▲銀河系政府ビル

大人の鑑賞に耐えうる本格的なSFアニメ、そんな私たちの願いをこめて飛び立ったのが、「キャプテン・フューチャー」です。「キャプテン・フューチャー」には、その豊かなイマジネーション、とほろもなくゆかいなアイデア、スケールの大きさと、どれをとってみてもスペース・オペラのおもしろさが玩具箱のように満載されています。日本では残念ながら、必ずしも数多の支持を得られませんでした。コメント号はいま、フューチャーメンたちを乗せて、世界中のテレビ局を駆けめぐり、若いアニメファンの熱い視線を受けていると聞いています。

「キャプテン・フューチャー」を終えて  
NHK青少年部チーフ、丹 泰彦  
プロデューサー  
私たちテレビ屋が、いまの若い世代をイメージする時、よく「ビートルズを子守歌に、マンガをオヤツに育った世代」といった表現を使います。アニメーションという、とかく幼児のものといった風潮に、私自身少々反発を感じていたせいもあって、マンガをオヤツどころか主食に育ってきた世代のためのアニメを、ぜひ作りたいというつもを考えていました。

地球を中心にひとつにまとまって繁栄を続けてきた太陽系世界に、ひんばんに侵略の手がのびるようになって以来、その職務はきわめて重要になった。キャプテン・フューチャー呼び出し信号を発信できるただひとりの人物である。 ■エスラ・ガーナー  
沉着にして冷静、キャプテン・フューチャーの無二の親友である腕ききの惑星バトロール司令。